



ふれあい  
杉山民謡会 会報



NO.33



## 新年明けましておめでとうございます

皆様におかれましては、お健やかに新しい年を、お迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年も年間を通してたくさんの方の行事がありました。ご協力ありがとうございました。

印象に残っているのは、やはり民謡の一年の締めくくりである「大民謡まつり」に出演できた事です。一昨年から引き続き出演させて頂きましたが、とてもやりがいのある舞台だったと思います。

当会の演目としては老若男女問わず、特に若手をアピールでき、後世に受け継がれている事を表現出来たのではないのでしょうか。

大人会員の方々は勿論のこと、キッズ達も大きな舞台に立ち、喜びと緊張の良い刺激を感じたのではないのでしょうか。

継承と普及については民謡会の最重要課題です。当会としても常に模索しながら気持ちの統一を図り、一丸となって進みましょう。

さて今年が発表会の年です。

一人一人がそれぞれに想いを込めた唄創りを準備しましょう。舞台はもう始まっています。

どうぞ本年もよろしくお願い致します。



# さらに躍進すること力を

成

会員の皆様、明けましておめでとうございませう。皆様には善き年をお迎えのこととお慶びいたします。

昨年も日本列島を脅かす自然災害が発生し多くの方が被災され、現在も復旧に向けてご苦労され、不自由な生活をされていることに心からお見舞いをいたします。そのような中、日本の若者の活躍に素晴らしいものがあったと思う。

将棋界ではプロ棋士として連続勝利の新記録を達成した藤井さん、陸上100mで日本人初の10秒を切った桐生さんなどなど、その他多くの若者が日本を、世界をアツと驚かせる成績を残した。

我が杉山会でも、キッズが日民全国大会やその他のコンクールに出場し、入賞するなど大変優秀な成績を残してきたことは大変素晴らしいことであり誇りに思う。

さて、昨年の総会では決定出来ずに持ち越しとなった研修旅行であるが、参加人数から単独での催行は出来ず、旅行者募集のツアーに混ざってのものとなり、少々行動は制限されたが会員の親睦を図ることはなつたと思う。

また、大民謡まつりへの参加には、会員全員からの会費負担で行うことになつた。出演はキッズ中心の舞台であり、当会で一番推薦する内容であつた。しかし、出演を希望しない会員もあり残念に思う。これからは、やはり全員が出演することを基本に考えていて欲しいものだ。

今年発表会の年である。これから企画を進めていくことと思うが、当たり前のことではあるが、如何に沢山のお客様を集め、そして感動を味わつて頂くことを、是非とも実現して欲しいものである。

年々会員の平均年齢が高くなり、益々活動の域が狭くなつてくることは、私たちの会だけではないが、会員の皆様と会の活動がさらに躍進することに、力を注いで行きたいものだ。

会長 杉山哲明



# 日民前理事長のこと

やすらぎ支部

前川昭治

日本民謡協会前理事長 三浦朱門さんは平成29年2月3日に御逝去になりました。(享年91歳)

文化庁長官、日本芸術院院長を歴任され、妻・曾野綾子さんとともに作家であり、カトリック信徒です。ペンネームの「朱門」は聖人シモン・ペテロにちなんだ名前です。これまで、日民会報の2頁のコラムには民謡の歌詞を含め、横斜めから世界の音楽の一つとして、色々掘り下げて私どもに分かりやすく捉えていました。

三浦さんは文化庁長官の時、男女の貞操等で持論の物議を醸す発言などあり、同業から異端と見られました。「中高生時代は手のつけられないほどの不良であった」と自称し、非行の内容として、門限破り、喫煙、飲酒、女性との交際を挙げています。「晩年の夫は、よく転び、顔にあざを作っていました。知人や弁護士さんから理由を聞かれるたびに、うれしそうに『女房に殴られたんです』と答えて、妻にいじめられているかわいそうな男だということをおアピールし、女性たちの同情を買って、あわよくばモテようとしていたんでしょね」夫には「世の中何でも安心してちゃだめ、介護する人の言うことを聞かないと、或る日、捨てられるかもしれないわよ」と、物書き狸と狐!?(笑・失礼)。

うちはユーモアだらけなんです。痛烈な皮肉を言うことはあるが私たちは六十年間ずっと会話を積み重ねてきました。だから夫が元氣だったら、どう言うかということはいわゆるわかるんです。

声の内容、そのとき起きたことに対する反応ですね」と、曾野さん。また、曾野綾子さんはエッセイストとして様々な事柄に批評があり、その一つに

「くれない」が老化のはじまりと話す。何々をしてくれないとは「嫁とか、政府が何もしてくれない」・・・もらってるだけでは永遠に子どもということですか。辛らつなことばで、老人もまた同じ、甘やかせているとの論です。

以上、民謡から少し外れましたが、別の機会に私の民謡を話したいと思います。

前川昭治



## 五十歳の区切りに

今年一月末に新年会が終わった二代目先生とKKRでお話しさせ頂き無事、仲間入りさせて頂いた塩本です。(汗)

民謡は、家の両親と兄弟三人との寛ぎの時間にレコードを聞いていたのが出会いです。

北海道出身の両親は津軽民謡が好きで母は唄が上手でした。残念ながら唄の上手な所は姉だけが遺伝し、兄と私には受け継がれませんでした。母が気持ち良さそうにゴブシを回し、ポリウムを気にせず、大胆に大きな声で唄う姿が大好きでした。

その頃、ランドセルを背負った小学生だった私も祖父が好きだったホーハイ節や秋田音頭など口ずさんだりしていた民謡とは身近な存在でしたがいつしか歌謡曲や外国の歌に夢中になり、存在を忘れていました。

そんな時にお友達が他の民謡教室で習っていて暇だったら是非にとチケットを分けてくれました。

杉山民謡会の発表会や、華絵巻、大民謡祭と何度か見るうちに綺麗で煌びやかでユーモアがあり、唄が抜群に上手い杉山民謡会の二代目先生に惚れ込み、追っ掛けするうちに杉山民謡会の一員にどうしても入りたくくなりました。

「身の程知らずとはこの事だ！」と自分を抑えていましたが仕事が趣味だった寂しい自分を変える為、五十歳の区切りの『良い年に』エイヤと飛び込みました。エイヤと飛び込んで良かったです。(笑)



エイヤと  
飛び込んで良かったです

皆さん本当に優しく、面白く、人当たりの良い方ばかりで暖かく、杉山民謡会の仲間に入れて頂いた事を有り難く誇りに思っております。まだ一年目の新米ですが、また色々教えて下さると助かります。

入会してすぐ肺炎になったりと、健康面では自信のない私ですが皆さんの笑顔と元気に支えられ頑張る事が出来そうです。これからもどうぞよろしくお願い致します。

## 我家の犬女子 朝の二時間

トイプードル。

名前は『もこ』。少々太り気味の七歳。

朝六時半。晴れの日、小雨の日は、「散歩に行くか」と声かけします。尻尾を振って喜びます。大雨の日は、ちよつと足踏みです。『もこ』の思う散歩コースは五ヶ所ほどあります。

途中何匹かの犬と顔を合わせますが、初めて会う女の子の犬だと吠えまくりません。楽しく散歩させている人に申し訳なく「すみません」と謝りながら引き綱を引っぱります。

よく顔を合わせる男の子の犬とは、とつても仲良しです。

おしつこ二回から三回、ウンチ一回、毎日元気です。

約四十分位の散歩ですが私も足の運動になり空を見上げ、鳥の鳴き声、川の流れ、やさしい風、木々、花、走っている人、散歩している人に挨拶を交わし、私も楽しいです。

『もこ』の餌は、ドックフード、ビスケット、チキンジャージ、骨つこで満腹なのに、私達夫婦の朝食の時は、「何かくれ、何かくれ」と隣の家の人に怒られるのではないかと思う位大きな声なのでドキドキしながら、『もこ』を怒りながら笑いながら味噌汁の卵、炒め物の肉、煮物のちくわ等、『もこ』の体に悪いと思いつながら食べさせています。

大きな声で吠え出しました。八時半、車が家の前に止まりました。要介護一の旦那様、車に乗りました。運転手さんに挨拶。抱っこした『もこ』と手を振りながら、「行ってらっしゃあい」車は静かに動きだしました。



山口紀子さん

とめさん

はばたき支部

山口紀子



## 皆さんと 出会ってから、 もう二十年が

### 一年を振り返って

中央支部 小崎妃登美

民謡会の皆さんと出会ってからもう二十年が経とうとしています。年齢を重ねるにつれて民謡会に居て良かったと感じさせられます。

私が、昨年やろうと思っていた事は、着物を探して自分で着れる様になることでした。

それで、実家にある着物を、いろいろ整理して振袖を二着見つけました。その時は、まさかこんなに早くその振袖を着る機会があるとは思っていませんでした。ほど良いタイミングで振袖を着て舞台に立つイベントがありました。加出来た事に、たいへん嬉しく思いました。

着物を探して自分で着れる様になる目標が振袖では難しいのでいろんな皆さんのお力を借りて叶った事だと思います。

まだまだ着物へのこだわりと挑戦を続けつつ子供達と並んでもおかしくない様にスキンケアも頑張ります。笑笑

キッズ支部 北川芙蓉

わたしは、お歌の大会でゆうしようしたことがうれしかったです。

お歌がまえよりもじょうずになったのがうれしかったのでよかったです。

お歌の練習でいろいろな歌をおぼえたのでうれしかったです。でも、どうして歌をうたっていたときにうらがえるのかしんぱいです。楽しかったです。



キッズ支部 北川更紗

おうたが、じょうずになっとうれしいです。





キッズ支部 中田詩織

去年は、高校一年生になり大会も少女の部から一般の部になって変化の多い一年だったなと思いました。一般の部での上位入賞は難しいと思いますが、それを目標に頑張っていきたいと思います。



キッズ支部 箕崎 仁

民謡を習い始めて三年目になります。今年も、山中節をがんばりたいです。変声期など心配なこともあるけどこれからもがんばります。

キッズ支部 箕崎文音

四月に小学校二年生になります。学校の先生も友達も地域で民謡を唄うときにごく応援してくれます。だからお兄ちゃんに負けなくらいがんばります。





キッズ支部 山本菜々子

2018年は、勉強も部活も民謡も好きなこともたくさんして友達ともたくさん遊んで充実した一年にしたいです！大好きなジャニーズのライブに行つてみたいです！



キッズ支部 山本日菜子

今年の目標は、もつとたくさん練習して民謡らしくうたえるようになることです。そして大会でいちばん大きなトロフィーをもらいたいです。

キッズ支部 中村紗貴

2017年は、新しい曲に挑戦させてもらったり、色々なステージに出させて頂いて本当に楽しかったです。たくさん課題と直面して、歌の難しさとお稽古することの楽しさを感じる事が出来た一年でした。

来年は、受験生になるので、勉強と両立しながら、少しでも上手になれるよう、頑張りたいと思います。



恵里ちゃん

紗貴ちゃん

キッズ支部 中田恵里

去年は、中学二年生で初めて先輩になりました。そのため、部活が大変でした。今年は、受験があるので部活を引退して、勉強に力を入れて志望校に合格したいです。

「民謡舞少年少女全国大会（日本一決定戦）に、出場させていただき、今回は、とても緊張しました。

本番は大きな声で、しっかり唄う事が出来、達成感と満足感が、いっぱいでした。応援ありがとうございました。」

※写真のメンバーを代表して

恵里ちゃんからのコメント



キッズ支部 西房 唯

大学での実習がたくさんあって  
NHKホールや華絵巻と日が重なりまし  
たが、どちらも何とかやりきることが出来  
ました。

今年は就職なので、最後の学生時代を楽し  
みたいと思います。



キッズ支部 西房 亜美

去年は六月にNHKホールで民謡フェス  
ティバルに参加し、十月には、日本民謡協  
会の全国大会で入賞して初めての経験が  
たくさん出来ました。

今年は去年よりたくさん賞がとれるよ  
うに頑張ります。





2017  
with  
YOU





2017  
with  
YOU





2017  
with YOU



# 2017 With YOU



## ●●●編集後記●●●

年末年始にかけ、煮詰まった頭を整理すべく、初心に帰るつもりで先輩たちの『ふれあい』に対する思いを、感じ得るため創刊号の中から紐解いてみた次第です。その一節です。

「この度、杉山民謡会の会報『ふれあい』を発刊されますことは、誠におめでたい限りであり事務局の皆様衷心より敬意と感謝を申し上げます。

民謡を愛する同人として、人間触合いのなかからそれぞれの人生を学び、忙しい仕事のなかにも裕とりの心を養うことは非常に大切な事と存じます。先生も生徒も一体となつて、「どうせやるなら立派なうたを」を合言葉に、互いに切磋琢磨し、人格形成の道場として頑張ろうではありませんか。会員一同の奮起を御祈念申し上げます。あいさつといたします。」

『ふれあい』平成二年四月創刊号にて記載された懐かしい記事です。

「ペンの力」というか、「文字力」というか、ふれあい二十八年の歴史と重みを、改めて感じていきます。

へ 広報 へ



平成三十年 一月

